

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公開番号】特開2001-72683(P2001-72683A)

【公開日】平成13年3月21日(2001.3.21)

【出願番号】特願2000-10904(P2000-10904)

【国際特許分類】

C 0 7 D 491/16	(2006.01)
C 0 7 D 519/00	(2006.01)
C 0 8 F 2/50	(2006.01)
C 0 9 B 57/02	(2006.01)
C 0 9 D 7/12	(2006.01)
C 0 9 K 3/00	(2006.01)
C 0 9 K 11/06	(2006.01)
H 0 1 L 51/50	(2006.01)

【F I】

C 0 7 D 491/16	
C 0 7 D 519/00	
C 0 7 D 519/00	3 1 1
C 0 8 F 2/50	
C 0 9 B 57/02	H
C 0 9 D 7/12	
C 0 9 K 3/00	T
C 0 9 K 11/06	6 5 0
C 0 9 K 11/06	6 5 5
H 0 5 B 33/14	B

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月10日(2007.1.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

これまで、緑色域で発光する有機EL素子においては、ゲスト発光剤の配合による発光効率の改善が報告されているけれども、赤色域の発光においては、未だ効果的なゲスト発光剤が見出されておらず、依然として、完全な赤色発光とは程遠く、発光寿命が短かく、耐久性においても信頼性においても不充分な状況にある。例えば、特開平10-60427号公報及び米国特許第4769292号明細書に開示された有機EL素子は、輝度が充分でないうえに、発光が完全な赤色ではなく、したがって、フルカラーを実現するうえでお問題があると言わざるを得ない。